別添

2013.8.21 毎日朝刊 京都市中京区

＝ご安心下さい＝皆様からお預かりいたしました個人情報は責任をもってお守りいたしております。

がんこな慢性病でお悩みの方へ
クロレラ療法

日本クロレラ療法研究会 会長
二代目 中山流石（72歳）

先代・中山流石氏曰く、「国民の知る権利」「本当のことを言ってはいけないと言う法律はない」「慢性病で困っている人の立場で考える」「国民の福祉の向上」等、中山流石氏の意志を継承し、これからもクロレラの正しい普及と啓蒙活動を続けていきます。

体の健康 クロレラ（C.G.F.）

イメージ写真

おもな効用
- 病気と闘う免疫力を蘇える
- 細胞の働きを活発にする
- 排毒・解毒作用
- 高血圧・動脈硬化の予防
- 腸管・胃腸の働きを活発にする　など

相乗効果

心の健康 ウコギ（イソフラキシジン）

おもな効用
- 神経衰弱、自律神経失調症改善作用
- ホルモンバランスを調整
- 抗ストレス作用・疲労回復作用
- 精神作用による緊張の緩和・睡眠安定
- 抗アレルギー作用　など

樹齢推定300年のウコギの根

最近のクロレラに関する学術情報

- ●ヒトを対象とした抗動脈硬化作用についての研究
  第10回日本抗加齢医学会総会（2010）で発表
- ●妊娠時の貧血やタンパク尿に対する予防効果に関する研究
  Plant Foods for Human Nutrition Vol.65 No.1に掲載
- ●便秘改善等の腸内環境に対する研究
  第13回日本補完代替医療学会学術集会（2010）で発表
- ●激しい運動に伴う免疫機能低下の抑制に関する研究
  第11回日本抗加齢医学会総会（2011）で発表

※詳しい学術名・内容等のお問い合わせもお待ちしております。

腰部脊柱管狭窄症（お尻からつま先までの痛み、シビレ）
痛みとシビレで何とも情けない姿になってしまった。昔はシャキシャキしていたのに…

愛知県西尾市一色町
匿名希望（女性・77歳）

腰を悪くしてから、お尻からつま先までのビリビリした痛みとシビレが悩みの種でした。立ち座りするだけでおっかなびっくりで、台所では椅子に腰掛けないと食事の支度が満足にできず、洗い物は流し台に両肘をついてする有様でした。布団の上げ下ろしも重労働なので、思い切ってベッドに替えました。また、買い物に出掛ける際は休み休みしか歩けず、重い荷物を持って転んで怪我でもしたら大変なので、主人の付き添いが必要だったのです。スーパーに着いた時には太ももが痛くて痛くて、ため息まじりに「どうこいしょ」と腰を下ろすのが当たり前になっていました。「何とも情けない姿になってしまったわ。昔はシャキシャキしていたのに…」と思ったところでどうしようもありませんでした。

そんな毎日が続いていたある日、解説特報を隅から隅まで読んだうえで、クロレラ療法にかけてみようと思い立ちました。ダメで元々のつもりで細胞壁破砕クロレラ粒とウコギエキスを飲んでみたのです。私にしては精一杯頑張ったつもりでしたが、3ヵ月経っても痛みやシビレは消えることはありませんでした。

担当の方に相談すると体質改善の大切さを懇々と説明され、確かにここで諦めるのはもったいないと、もうしばらく続けてみることにしました。すると痛いのは痛いのですが、日によって足の痛みとシビレが薄らいできたのです！それからは日を追うごとに痛みが気にならなくなり、立ち座りや歩行の際の地面を踏みしめている感覚が戻ってきたのです。口癖だった「痛い、痛い」も忘れてしまい、長時間でなければお勝手仕事や買い物が苦にならなくなりました。それと、以前は車に乗る際にお尻を座席に乗せた後、片足ずつ両手で持って引っ張り込んでいましたが、今はすんなり乗り降りできるんです。背中が丸まっていたお婆ちゃんでしたが、背筋をシャンと伸ばせるまでになりました。どれもこれもクロレラのお陰です。続けて良かった！

ご本人様との対談より

肺気腫
建設工事の手伝いを頼まれるほど元気に！

京都府綾部市
松○ ○○様（男性・83歳）

「んっ、ここはどこだ…」。気付けばベッドに横たわり、酸素マスクをつけている自分がいました。周りで家族が見守っており、これはただ事ではないと何かが起きたのだと瞬時に察知しました。話を聞けば、家の中で倒れている私を妻が発見し、救急車で病院まで運んだとのこと。先生は「覚悟してください」と家族に告げたそうで、次々に明かされる経緯を知るうち、とんでもない病に侵されたのだと非常に怖くなりました。その反面、幸い意識を取り戻すことができたので、安堵する家族の姿がやけに微笑ましく思えました。

病名は肺気腫。振り返れば畑仕事で息切れすることがあり、体の不調は少し感じていました。タバコもたくさん吸っていたので、それも影響したと思います。退院するのに30日かかり、トイレにも行けずにずっと点滴を受けていました。退院後は酸素吸入器をつけての生活が始まり、いきなり重病者になったようで気持ちがすさんでしまいました。また、息苦しくて体力も続かないので思うように草刈りができず、荒れた畑を見るとどこか自分と似ているようで惨めでした。

そんなときに日本クロレラ療法研究会の解説特報を読み、貴会推奨の細胞壁破砕クロレラ粒とCGF液を飲み始めたのです。担当者から辛抱して続けてくださいと言われていたので、特に変化はなくてもその言葉通り根気強く飲用していました。すると、半年も経たないうちに息遣いが楽になり、酸素吸入器をつけずに畑へ向かうことができたのです。そして作業できる時間も長くなり、畑に弁当を持って行って1日がんばれたのです。

そんな私を見た建設業をしている知人から、工事の手伝いの依頼を請けましたが。それまでなら体のことを心配されてか気遣われることが多かったのですが、こうして声を掛けられることがとてもうれしく、気持ちが晴れやかになりました。手入れできている畑を見ると、自分も健康であるのだなとしみじみ感じる毎日です。

ご本人様との対談より

自律神経失調症・高血圧
孫のかわいい声にも

兵庫県姫路市
匿名希望（男性・60歳代）

知人と旅行に行ったときのことです。血圧が㊤220㊦118に上がっており、医師から「一歩間違えば脳出血になっていてもおかしくない数値です」と言われ、血圧の薬を服用することになりました。無理は禁物と安静にしていたのですが、2ヵ月が経った頃から身体のだるさがひどくなって、足先の冷え、のぼせ、不眠、皮膚の違和感など、次々に色々な症状が出てくるようになりました。特に辛かったことは、音に対して敏感になり、すべての音が耳障りに感じてテレビの音も小さくし、何より孫のかわいい高い声にも嫌悪感を覚えていたのです。

病院で安定剤を処方されたのですが、以前にクロレラを飲んでいたことを思い出し、細胞壁破砕クロレラ粒とCGF液、ウコギエキスを飲み始めました。

半年程経った頃でしょうか、血圧の薬が1錠減って疲れもあまり感じなくなり、気分も楽になったのです。そして1年が過ぎた頃には安定剤を飲まなくてもよくなり、以前は知人と食事に行っても楽しむことが出来なくて家に閉じこもっていましたが、外出することに自信を持つことが出来るようになりました。今では畑仕事をしたり買い物に出掛けたりと、一日中家にいることはほとんどありません。

私の体験をお話しする際に当時のことを振り返りましたが、本当に辛い日々でした。クロレラを始めて本当に良かったと思っています。

ご本人様との対談より

発行責任者
日本クロレラ療法研究会
会長
二代目 中山流石
〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大坂町365番地 サン・クロレラ本社ビル4F
電話（075）361-2316（代表）
禁・無断転載

◎病気になったら、病院（医師）の診断を必ず受けること。
医薬品によって効果が得られない方は、ぜひクロレラとCGFをお試し下さい。
◎クロレラは夢の食品と言われるように、各種栄養素をバランスよく豊富に含む食品として製造されているものですが、摂取した結果として、いろいろな効果が報告されております。
◎クロレラは薬効のある食品であり、医薬品ではありませんから、医薬品と併用してもしなくても、クロレラには副作用や習慣性は一切ありません。

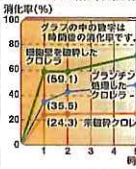
消化・吸収のよさ、天然培養が決め手！

クロレラの顕微鏡写真

細胞壁破砕 前

細胞壁破砕 後

クロレラの人工消化率比較試験表



日本クロレラ療法研究会は、クロレラの正しい普及をはかる目的で、全国的な啓蒙活動を行っている組織です。

クロレラはクロレラでもすべて同じものではございません。品質のより良いクロレラをお選び下さい。

日本クロレラ療法研究会 京都本部

〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条西南角サン・クロレラ本社ビル4F

駐車場完備

でんわ相談 **0120-13-9603**

受付時間：午前9時～午後7時（土・日・祝日は午後5時まで）

ご相談随時受付中

ホームページでも情報掲載中 http://www.3960.gr.jp

又は 検索サイトで「3960」と検索して下さい。 3960 検索 をクリック 日本クロレラ療法研究会【解説特報】 をご覧下さい。

当研究会では随時、クロレラに関するお問い合わせを承っております。上記フリーコールか裏面のハガキをご利用下さい。

生きる力の再構築

腰痛・坐骨神経痛

座業やブロック注射も限界、長期間寝ていました

茨城県水戸市　匿名希望（男性・68歳）

主人は若い頃から言いものを運ぶ仕事で体を酷使してきました。そんな主人も61歳で腰を痛め、坐骨神経痛の症状に悩むようになりました。ズーンとだるい腰の痛みにビリビリする足のシビレが加わって、痛み止めを飲んでも、座薬を使っても、ブロック注射を打っても、時的に痛みが軽くなるだけで次第に立ちあがるのも大変な状態になってしまったのです。「とにかく何とかしなければ」とたくさんの病院を訪ねましたが、どこも同じような対応で、結局整形外科と接骨院を1カ所ずつ選んで、私が毎日車で送り迎えをしておりました。しかし改善する気配がなく、主人はもちろん傍から見ている私も「このまま治らないのでは…」と不安や焦りが募って参りました。

実は主人の腰痛が始まった頃、解説特報を見て内緒で「鹿嶋城支部に相談したことがありました。それから2年、回復の見込みもなかったため主人に打ち明けて話し合い、平成20年10月から推奨の細胞壁破砕クロレラ粒、CGF液、ウコギエキスを併用して飲み始めました。長期戦も覚悟しましたが、主人の場合は早いうちから変化が現れました。飲用開始1カ月くらいから「痛い、痛い」と言う口数が減ってきたのです。毎日だった接骨院通いも3日に1回、そして1週間に1回になり、翌年1月には多少腰が重いだけで神経痛の方はすっかり良くなっておりました。ただ主人は良くなるにしたがいクロレラを飲まなくなってしまったのです。それでもしばらくは変わりなく過ごせていましたが、昨年5月に風邪をこじらせて半月ほど寝込んだのを境に筋力が落ちて腰痛が再発しました。また逆戻りして松葉杖の生活になってしまい、他に頼るところもなく再度クロレラ療法で仕切り直しをすることにしました。そして今回も2カ月後には小バエリ代わりの犬の散歩ができるようになり、秋には仕事にも復帰することができました。思った以上の結果が出て、クロレラには再び驚かされました。現在主人はゆっくり仕事をしながら毎日元気に過ごしております。またクロレラを飲まなくなるのが心配ですが、私もクロレラを飲んで健康増進にがんばっています。

奥様との対談より

糖尿病

食事療法や運動はしているのにHbA1cが下がらない

大阪府吹田市　匿名希望（女性・86歳）

若い頃から健康自慢で、40年間風邪をひいたことすらありませんでした。しかし、70歳を過ぎた頃から血糖値が基準値を超え、薬を服用するようになりました。薬に頼らないようにしたいとの思いから、①食事療法、②毎日1000歩以上は歩き趣味のゲートボールにいそしむ、を約8年間実行してきましたが、HbA1cは7台1-8台を行ったり来たりで思うように下がりませんでした。合併症による視力の低下など、いろいろ不安を募らせていた頃、解説特報が目に留まりました。

相談員の方に自宅まで説明に来て頂き、娘と一緒に説明を聞いて納得したうえで貴会推奨の細胞壁破砕クロレラ粒とCGFエキスとウコギエキスの併用で平成17年の5月より飲用を開始しました。すると半年が経った頃、それまで数々の努力をしても落ちなかったHbA1cが6台に下がったのです。その後の数値は、多少上下はあったものの少しずつ下がって5.7で安定しており、合併症の不安も消えました。

昨年、亡き主人の法事を無事終えることが出来たのですが、用事が一段落して気抜けしたのか、体調を崩した機会に検査入院して体中を調べてもらったのです。MRIや他の検査でも異常がなく、医師から「心臓も内臓も骨も全て丈夫、骨密度は70歳ですよ」と褒められ嬉しく思いました。最近は不眠症の方が多いと聞きますが、夜はよく眠れます。とくに心配していた視力の方は、手元の小さな字も遠くのゲートボールの球もよく見えるので安心しています。息子や娘に心配をかけないよう、これからも健康を維持していきたいです。私の体験から主人にも同じものを飲ませたかった…。

ご本人様との対談より

パーキンソン病・便秘

ちょこちょこ歩きで動作がスローモーション

大分県玖珠郡　匿名希望（男性・70歳代）

数年前から便秘や貧血、ふらつきがあり病院にかかっていましたが、まさか自分がパーキンソン病だとは思ってもいませんでした。最初の異変は昨年6月、田植えの準備をしていたところ、妻から「動きが遅いよ?」と言われ、初めて自分の体がおかしいことに気づきました。すぐに病院で調べてもらったところ、パーキンソン病の疑いが強いとの診断で薬を処方されましたが、服用しても症状は変わりません。それどころか動きも便秘もひどくなり、歩行もちょこちょこ歩きでほとんどの動作がスローモーション。しかも下剤を服用しても1週間近く便通がなく、苦しくて寝込んでしまうこともありました。

時間が経つにつれ悪化する症状に「このままずっと寝込むことになったらどうしよう?」と悩む二方、時折新聞に折り込まれてくる解説特報が気になり、毎回捨てずに取っていました。自分と同じパーキンソンの方の体験談を読むたびに「本当だろうか、嘘じゃなかろうか」と疑いつつも「もうこれしかない、クロレラにかけてみよう」と決心し、平成25年2月、日本クロレラ療法研究会大分支部へ連絡し、推奨の細胞壁破砕クロレラ粒とCGF液、ウコギエキスの飲用を始めました。

祈るような気持ちで回復を待ちました。そうしたところ、飲み始めて2カ月をこえたころから爪の伸びが早くなり、お通じが定期的になって、下剤を少しずつ減らすことができたのです。さらに、3カ月ほど経つと白髪が黒くなり、下剤を半分にしても1日毎に便が出るようになって、自分でも「少しずつ変わってきたのかなぁ」と期待が持てるようになりました。先日、久しぶりに会った知人に「○○さん、動きがすいぶんようなったなぁ」と言われた時は、期待が確信に変わり「寝込んだらどうしよう」という気持ちから「絶対に寝込まないぞ」という強い気持ちが沸々と湧き上がってきました。また、今年の田植えは無理だろうと諦めていましたが、クロレラのお陰で1町余りの田植えを夫婦2人で無事終えることができました。今後も今以上の改善を期待しながら続けていきたいと思います。

ご夫婦との対談より

間質性肺炎 関節リウマチ・貧血

乾いた感が続き、薬が使えず何の手立てもない不安な日々

長野県上田市　匿名希望（女性・82歳）

平成23年4月、ケホッ、ケホッと乾いた咳が出るようになりました。最初は熱もなく軽い咳だったので気にもしていませんでしたが、2カ月経っても治まず、人と話している最中に咳き込み、身体を動かすと息苦しさを感じるようになりました。病院でCT検査をしてもらうと肺の左下が白くなっており、さらにMRIや血液検査を受けた結果、間質性肺炎と診断されたのです。ところが高齢で貧血と関節リウマチがあったため、免疫抑制剤などが使えないということで経過観察になりました。何の手立てもないまま咳は続き、リウマチで指や手首は痛み、さらに脊柱管狭窄症からの腰痛と脚のしびれ、おまけにザーザーと川の近くにいるような耳鳴りまでしてきて「このままどうなってしまうのかしら?」と不安で堪らない日々を過ごしていました。

そんな時、娘が「お母さんと同じ症状の人が載っているよ!」と解説特報を見せてくれ、早速真会東京支部に電話して詳しい説明を聞きました。そしてこのまま何もしなかったらダメだと思い、平成23年10月より推奨の細胞壁破砕クロレラ30粒とCGF、ウコギ混合エキス100mlを飲み始めたのです。ダメで元々という気持ちがあったのですが、11月末の血液検査で貧血が良くなり正常値になっていたので、正直驚き嬉しい結果でした。咳も多少は出ますが徐々に治まってきて息苦しさがなくなり、平成24年3月の検査で間質性肺炎が落ち着いていると言われ、状態が良いので「次の検査は半年後でいい」と言われました。私の様子を見て家族や友人が「クロレラって本当にいいのね!」と褒めてくれました。そして平成24年4月からはクロレラ30粒とCGF液15ml、ウコギ15粒に切り替えて飲用し、小康状態といった感じですが手首の痛みや腰痛も和らいできているので欠かさず続けております。

ご本人様との対談より

前立腺ガン

「何かの間違いだろう」と気軽に受けた再検査で…

埼玉県熊谷市　匿名希望（男性・74歳）

若い頃から大病をしたことがなかった主人は、健康には人一倍自信を持っていました。そんな人なので、病院嫌いで市民検診の知らせが来ても「俺は大丈夫だから」と言って気にも留めてくれませんでした。しかし、去年の11月頃から「トイレに行く回数が増えた」が口癖になっていたので、「もう歳なんだから検診を受けなさいよ」と無理やり行かせたのです。その結果、思いもかけない再検査の通知を見て驚いていました。

「何かの間違いだろう」と気軽に受けた再検査でしたが、血液検査の結果はPSAが28もあり、医師から「この数値だと前立腺ガンの疑いがありますよ」と予期せぬ病名を告げられたのです。相当なショックを受け、それ以来、塞ぎ込むようになって声をかけるのも可哀そうなくらいでした。翌月にはPSAが39とさらに高くなっており、針生検を受ける12カ所中6カ所にガンが見つかったのです。骨盤部に転移がないかCT検査を受けましたが、幸いにも骨に転移はなくホルモン療法で治療することになりました。

私自身も最悪の事態を考え覚悟しましたが、気持ちを切り替え「何かできることはないか…」と思案していた頃、解説特報が目に留まったのです。とにかく相談してみようと埼玉支部に連絡を入れ、相談員の方から詳しくお話を伺い、主人は1月から推奨して頂いたアガリクス、ブラゼイとCGF液の飲用を始めました。

私自身も最悪の事態を考え覚悟しましたが、気持ちを切り替え「何かできることはないか…」と思案していた頃、解説特報が目に留まったのです。とにかく相談してみようと埼玉支部に連絡を入れ、相談員の方から詳しくお話を伺い、主人は1月から推奨して頂いたアガリクス、ブラゼイとCGF液の飲用を始めました。

「これからどうなるのか」と毎日祈るような思いでしたが、アガリクス療法を始めて精神的に救われたようで、食欲も出始め顔色も良くなってきたのです。そんな主人の姿を見て、「期待できるかもしれない」と手応えを感じました。その後の検査では0.1以下になったのです。この結果に、正直これほど下がるとは思いもしなかったので驚き、アガリクスに出会えて本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいでした。医師からも「ホルモン剤の副作用もなく順調ですよ」と言われ、何とも言えない安堵感を覚えました。6月には高校1年生になる孫の体育祭に2人で出かけ、久しぶりに楽しい時間を過ごすことができました。主人の元気な姿を見て「来年も見に来てね」と孫もうれしそうでした。主人のこれまでの経過だと思うので、油断せず免疫力を落とさないようにアガリクスを続けて欲しいと思います。

奥様との対談より

女性の方で、女性相談員をご希望の方はお申し付け下さい。

ご体験者の皆様の声を紙面の都合でごく一部掲載させていただきました。また、掲載分のお手紙等の原稿は全て保管しております。

あなた様の情報は資料を発送するうえで欠かせない得記や案内・当会からの情報提供などに使用させていただきます。当会の個人情報保護方針はホームページ(http://www.3960.gr.jp)をご確認下さい。

料金受取人払郵便
京都支店承認
1551
差出有効期間
平成26年2月1日まで
切手不要

600-8790
118
（受取人）
京都市下京区烏丸通五条西南角
サン・クロレラ本社ビル4F
日本クロレラ療法研究会
京都本部行
WI-ク①京都A

詳しい資料を無料でお届けします
切手不要。切り取ってそのままホストへ入れて下さい。

フリガナ お名前	男・女（　歳）
ご住所	〒□□□-□□□□
電話番号	（　）
ご相談内容をお書き下さい	
※何新聞をお読みですか。	（　新聞）

きりとり線※必ずハサミで切り取って下さい

上記の体験談以外にも、全国より数多くのお声をいただいております

- 肝炎・肝硬変
- 糖尿病
- 更年期障害
- 高血圧・高脂血症
- 脳梗塞・脳出血
- 肺気腫
- 喘息・気管支炎
- 腰痛・椎間板ヘルニア
- 坐骨神経痛
- 脊柱管狭窄症
- 関節炎
- 肩こり・しびれ
- 骨粗鬆症
- 耳鳴り・難聴
- メニエール病
- めまい・ふらつき
- アトピー性皮膚炎
- 尋常性乾癬・白斑
- 自律神経失調症
- うつ病
- 不眠症
- 動悸
- パーキンソン病
- 頭痛
- 胃・十二指腸潰瘍
- 潰瘍性大腸炎
- 便秘・痔
- 腎炎・ネフローゼ
- 前立腺肥大症・膀胱炎
- 甲状腺疾患
- 痛風
- 子宮内膜症・子宮筋腫
- 生理痛
- 動脈硬化・動脈瘤
- 狭心症・心筋梗塞
- 腎尿病
- 白内障・緑内障
- 副鼻腔炎・鼻炎
- 口内炎
- 帯状疱疹
- 湿疹・ジンマシン
- 水虫
- 花粉症
- パニック障害
- 不安神経症
- 関節リウマチ
- 冷え性・貧血
- 健康増進

◎上記の体験談をご希望の方は電話・ハガキにてご請求下さい◎

ご相談・お問い合わせは下記のフリーコールで。
通話料無料 0120-13-9603 午前9時～午後7時（土・日・祝日は午後5時まで）
※クロレラを摂取して得られる結果には個人差があります。